

デザイン工学部A方式I日程・理工学部A方式I日程

生命科学部A方式I日程

## 2 限 数 学 (90分)

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答はすべて解答用紙に記入下さい。
3. 志望学部・学科によって解答する問題が決まっています。問題に指示されている通りに解答下さい。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意下さい。
4. 問題文は4ページから19ページまでとなっています。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読み下さい。

## (1) 解答上の注意

問題文中の ア, イ, ウ, … のそれぞれには、特に指示がないかぎり、－ (マイナスの符号)、または0～9までの数が1つずつ入ります。当てはまるものを選び、マークシートの解答用紙の対応する欄にマークして解答下さい。

ただし、分数の形で解答が求められているときには、符号は分子に付け、分母・分子をできる限り約分して解答下さい。

また、根号を含む形で解答が求められているときには、根号の中に現れる自然数が最小となる形で解答下さい。

〔例〕

$\frac{\boxed{\text{ア}}\sqrt{\boxed{\text{イ}}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$  に  $\frac{-\sqrt{3}}{14}$  と答えたいときには、以下のようにマーク下さい。

ア	●	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
イ	⊖	0	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
ウ	⊖	0	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
エ	⊖	0	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

マークシート解答方法の注意事項は裏表紙に続きます。問題冊子を裏返して読み下さい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。

[I]

- (1)  $A = 3^{50}$ とおくとき、 $A$ の桁数は  $\boxed{\text{アイ}}$  である。ここで、必要ならば  $0.4771 < \log_{10} 3 < 0.4772$  であることを用いてもよい。
- (2) 5で割ると4余り、4で割ると2余る自然数のうち、最小の数は  $\boxed{\text{ウエ}}$ 、小さい方から2番目の数は  $\boxed{\text{オカ}}$ 、小さい方から  $m$  番目の数は  $\boxed{\text{キク}} m - \boxed{\text{ケ}}$  である。ただし、 $m$  は自然数とする。
- (3) 6人を、それぞれ1人、2人、3人からなる3つのグループに分ける分け方は、 ${}_6C_1 \times \boxed{\text{ク}} C_2 = \boxed{\text{サシ}}$  通りある。
- (4) 自然数  $n$  に対して、 $n^2$  を3で割ると1余ることは、 $n$  を3で割ると1余るための  $\boxed{\text{ス}}$ 。  
ただし、 $\boxed{\text{ス}}$  については、以下の①～③から1つを選べ。
- ① 必要十分条件である
  - ② 必要条件であるが、十分条件ではない
  - ③ 十分条件であるが、必要条件ではない
  - ④ 必要条件でも十分条件でもない

(計算用紙)

## 〔Ⅱ〕

$k$  は、 $0 < k < 1$  を満たす実数であるとする。三角形  $OAB$  の重心を  $G$ 、辺  $OA$  を  $k : (1 - k)$  に内分する点を  $P$  とし、 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$  とおく。

辺  $AB$  の中点を  $M$  とおくと、 $OG : GM = \boxed{\text{ア}}$  : 1 であり、

$\vec{OG} = \frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}} (\vec{a} + \vec{b})$  である。ここで、直線  $AB$  と直線  $GP$  が平行になるのは、

$k = \frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}}$  のときである。

以下、 $k = \frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}}$  として、2 直線  $AB$  と  $GP$  の交点を  $Q$  とおく。

(1)

$$\vec{PG} = \vec{OG} - \vec{OP} = \left( \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} - k \right) \vec{a} + \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} \vec{b}$$

である。 $s$  を実数として、 $\vec{PQ} = s\vec{PG}$  とおくと、

$$\vec{OQ} = \left\{ \left( \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} - k \right) s + k \right\} \vec{a} + \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} s \vec{b}$$

となる。また、 $t$  を実数として、 $\vec{AQ} = t\vec{AB}$  とおくと、

$$\vec{OQ} = \boxed{\text{ク}} \vec{a} + t \vec{b}$$

である。

ただし、 $\boxed{\text{ク}}$  については、以下の①～⑦から1つを選べ。

- ①  $t$                       ④  $(t-1)$                       ②  $(t-2)$                       ③  $(2t-1)$   
 ⑤  $(1-t)$                       ⑥  $(1-2t)$                       ⑦  $(2-t)$                       ⑧  $t(t-1)$

(〔Ⅱ〕の問題は次ページに続く。)

したがって、 $t = \frac{k - \text{ケ}}{\text{コ}k - \text{サ}}$  である。

ここで、Q が辺 AB を 5 : 1 に外分する点であるとき、 $t = \frac{\text{シ}}{\text{ス}}$  であるか

ら、 $k = \frac{\text{セ}}{\text{ソタ}}$  である。

(2)  $k = \frac{1}{4}$ ,  $OA = OB = 1$ ,  $\angle POQ = 90^\circ$  であるとする。  $\vec{a} \cdot \vec{OQ} = \text{チ}$

より、 $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{\text{ツテ}}{\text{ト}}$  である。したがって、三角形 OAB の面積は  $\frac{\sqrt{\text{ナ}}}{\text{ニ}}$

であり、三角形 OAQ の面積は  $\frac{\sqrt{\text{ヌ}}}{\text{ネノ}}$  である。

## 〔Ⅲ〕

三角関数  $\sin \theta$ ,  $\cos \theta$  は、角の大きさの単位をラジアンとして、その値を定めることができる。つまり、任意の実数  $\theta$  に対して、 $\sin \theta$  の値、 $\cos \theta$  の値がそれぞれ定まる。したがって、 $\cos\left(\frac{1}{2}\right)$  や  $\sin\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)$  の値は定まる。ここで、 $\sin\left(\frac{\pi}{6}\right) = \frac{1}{2}$  であるから、 $\cos\left(\sin\frac{\pi}{6}\right) = \cos\left(\frac{1}{2}\right)$  である。

$\theta$  の関数  $y = \cos \theta$  に  $\theta = \sin x$  を代入すると、 $y$  を  $x$  の関数  $y = \cos(\sin x)$  と考えることができる。ここで、 $f(x) = \cos(\sin x)$  とおくと、 $f\left(\frac{\pi}{6}\right) = \cos\left(\frac{1}{2}\right)$  となる。

同様に、 $g(x) = \sin(\cos x)$  とおくと、 $g\left(\frac{\pi}{6}\right) = \sin\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)$  となる。

変数  $x$  は  $0 \leq x \leq \pi$  の範囲を動くとして、 $f(x)$ ,  $g(x)$  それぞれの最大値、最小値を求め、大きさの順に並べよう。

- (1)  $\sin x$  のとりうる値の範囲は  $\boxed{\text{ア}} \leq \sin x \leq \boxed{\text{イ}}$  であり、 $\sin x = \boxed{\text{ア}}$  となる相異なる  $x$  の値は、小さい順に  $\boxed{\text{ウ}}$ ,  $\boxed{\text{エ}}$  である。

ただし、 $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{エ}}$  については、以下の A 群の ①～④ からそれぞれ 1 つを選べ。ここで、同じものを何回選んでもよい。

A 群

- ① 0                      ② 1                      ③  $\frac{\pi}{4}$                       ④  $\frac{\pi}{2}$                       ⑤  $\pi$

(〔Ⅲ〕の問題は次ページに続く。)

関数  $\cos \theta$  の値は、 $\boxed{\text{ア}} \leq \theta \leq \boxed{\text{イ}}$  の範囲で減少するから、  
 $f(x) = \cos(\sin x)$  は、 $x = \boxed{\text{ウ}}$ 、 $\boxed{\text{エ}}$  のとき最大値  $\boxed{\text{オ}}$  をとり、  
 $x = \boxed{\text{カ}}$  のとき最小値  $\cos(\boxed{\text{キ}})$  をとる。

ただし、 $\boxed{\text{オ}} \sim \boxed{\text{キ}}$  については、前ページの A 群の ①～④ からそれぞれ  
1 つを選べ。ここで、同じものを何回選んでもよい。

(2)  $\cos x$  のとりうる値の範囲は  $\boxed{\text{ク}} \leq \cos x \leq \boxed{\text{ケ}}$  であり、関数  $\sin \theta$  の値  
は、 $\boxed{\text{ク}} \leq \theta \leq \boxed{\text{ケ}}$  の範囲で増加する。したがって、 $g(x) = \sin(\cos x)$  は、  
 $x = \boxed{\text{コ}}$  のとき最大値  $\sin(\boxed{\text{サ}})$  をとり、 $g(x)$  の最小値は  $\sin(\boxed{\text{シ}})$  であ  
る。

ただし、 $\boxed{\text{ク}} \sim \boxed{\text{シ}}$  については、以下の B 群の ①～④ からそれぞれ 1 つ  
を選べ。ここで、同じものを何回選んでもよい。

B 群

- ① 0                      ② 1                      ③  $\frac{\pi}{2}$                       ④ -1                      ⑤  $-\frac{\pi}{2}$

(〔Ⅲ〕の問題は次ページに続く。)

(3)  $f(x)$ ,  $g(x)$  それぞれの最大値, 最小値の大小関係は,

$$\boxed{\text{ス}} < \boxed{\text{セ}} < \boxed{\text{ソ}} < \boxed{\text{タ}}$$

となる。

ただし,  $\boxed{\text{ス}} \sim \boxed{\text{タ}}$  については, 以下の C 群の ①~③ からそれぞれ 1 つ  
を選べ。ここで, 同じものは 1 回だけ選ぶものとする。

C 群

①  $\boxed{\text{オ}}$       ①  $\cos(\boxed{\text{キ}})$       ②  $\sin(\boxed{\text{サ}})$       ③  $\sin(\boxed{\text{シ}})$

(計 算 用 紙)

次の問題〔Ⅳ〕は、デザイン工学部システムデザイン学科、生命科学部生命機能学  
科生命機能学専修のいずれかを志望する受験生のみ解答せよ。

〔Ⅳ〕

座標平面上の放物線

$$y = 1 - \frac{x^2}{4}$$

を  $C$  とする。 $t$  を正の実数とし、 $C$  上の点  $P\left(t, 1 - \frac{t^2}{4}\right)$  における、 $C$  の接線  
を  $\ell$ 、法線を  $\ell'$  とする。

- (1)  $\ell$  の傾きは  $\boxed{\text{ア}}$  であり、 $y$  切片は  $\boxed{\text{イ}}$  である。また、 $\ell'$  の傾きは  $\boxed{\text{ウ}}$  で  
あり、 $y$  切片は  $\boxed{\text{エ}}$  である。一方、 $\ell'$  と  $C$  の、 $P$  と異なる交点の  $x$  座標は  
 $\boxed{\text{オ}}$  である。

ただし、 $\boxed{\text{ア}} \sim \boxed{\text{オ}}$  については、以下の①～⑨からそれぞれ1つを選べ。  
ここで、同じものを何回選んでもよい。

①  $\frac{t}{2}$

②  $-\frac{t}{2}$

③  $\frac{2}{t}$

④  $-\frac{2}{t}$

⑤  $t - \frac{8}{t}$

⑥  $-t - \frac{8}{t}$

⑦  $1 + \frac{t^2}{4}$

⑧  $1 - \frac{t^2}{4}$

⑨  $-1 + \frac{t^2}{4}$

⑩  $-1 - \frac{t^2}{4}$

(〔Ⅳ〕の問題は次ページに続く。)

(2)  $l$  と  $x$  軸の交点の  $x$  座標を  $u$  とおく。  $u$  は  $t$  の関数であり、  $t = \boxed{\text{カ}}$  のとき最小値  $\boxed{\text{キ}}$  をとる。

また、  $l'$  と  $x$  軸の交点の  $x$  座標を  $v$  とおくと、  $v$  は  $t$  の関数である。  $t$  が  $0 < t < 2$  の範囲を動くとき、  $t - v$  は、  $t = \frac{\boxed{\text{ク}}\sqrt{\boxed{\text{ケ}}}}{\boxed{\text{ケ}}}$  において最大値  $\frac{\boxed{\text{コ}}\sqrt{\boxed{\text{サ}}}}{\boxed{\text{シ}}}$  をとる。

(3)  $C$  を  $x$  軸方向に 2 だけ平行移動した放物線を  $C'$  とする。  $b, c$  を定数として、  $C'$  を表す 2 次関数を  $y = -\frac{x^2}{4} + bx + c$  とおくと、  $b = \boxed{\text{ス}}$ 、  $c = \boxed{\text{セ}}$  である。

2 つの放物線  $C, C'$  と  $y$  軸で囲まれる部分の面積は  $\frac{\boxed{\text{ソ}}}{\boxed{\text{タ}}}$  である。

次の問題[V]は、デザイン工学部システムデザイン学科、生命科学部生命機能学  
科生命機能学専修のいずれかを志望する受験生のみ解答せよ。

[V]

定数  $a, b$  を正の実数とし、 $c = \frac{2\sqrt{3}}{3}$  とおく。座標平面上において、半円  
 $y = \sqrt{4c^2 - (x - c)^2}$  の  $x \geq 0$  の部分を  $C_1$ 、曲線  $y = ax^2 - bx + 2$  を  $C_2$  と  
する。

点  $P$  の座標を  $(c, 0)$  とし、 $C_1$  の  $x$  軸上の点を  $Q$ 、 $C_1$  の  $y$  軸上の点を  $R$  とお  
く。

- (1)  $C_1$  は中心  $P$ 、半径  $2c$  の円の一部である。弧  $QR$  に対する中心角を考えると、  
扇形  $PQR$  の面積は  $\frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウ}}}\pi$  である。また、三角形  $PQR$  の面積は  $\frac{\boxed{\text{エ}}\sqrt{\boxed{\text{オ}}}}{\boxed{\text{オ}}}$   
である。

([V]の問題は次ページに続く。)

(2)  $C_2$  は  $Q$  を通るものとする。このとき、

$$b = \frac{\sqrt{\boxed{\text{カ}}}}{\boxed{\text{カ}}} + \boxed{\text{キ}} \sqrt{\boxed{\text{ク}}} a$$

が成り立つ。

線分  $QR$  と  $C_2$  で囲まれた部分の面積を  $S$  とおき、 $S$  を  $a$  を用いて表すと、

$$S = \boxed{\text{ケ}} \sqrt{\boxed{\text{コ}}} a$$

である。

次に、 $S$  が、 $C_1$  と線分  $QR$  で囲まれた部分の面積に等しいとき、

$$a = \frac{\boxed{\text{ケ}} \sqrt{\boxed{\text{コ}}}}{\boxed{\text{サシ}}} \pi - \frac{1}{\boxed{\text{ス}}}, \quad b = \frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソ}}} \pi - \frac{\sqrt{\boxed{\text{カ}}}}{\boxed{\text{カ}}}$$

である。

次の問題〔VI〕は、デザイン工学部都市環境デザイン工学科、理工学部機械工学科  
機械工学専修・応用情報工学科のいずれかを志望する受験生のみ解答せよ。

〔VI〕

O を原点とする座標平面上の楕円

$$\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{3} = 1 \dots\dots\dots ①$$

を C とする。y を x の関数と考えて、① の両辺を x で微分すると、

$$\frac{1}{2}x + \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}y \cdot y' = 0$$

となる。a, b を定数として、C 上の点  $(-1, \frac{3}{2})$  における C の接線の方程式

を  $y = ax + b$  とおくと、 $a = \boxed{\text{ウ}}$ 、 $b = \boxed{\text{エ}}$  である。

ただし、 $\boxed{\text{ウ}}$ 、 $\boxed{\text{エ}}$  については、以下の①～⑨からそれぞれ1つを選べ。  
ここで、同じものを何回選んでもよい。

- |                 |                 |                        |              |                 |
|-----------------|-----------------|------------------------|--------------|-----------------|
| ① 0             | ② 1             | ③ 2                    | ④ 3          | ⑤ $\frac{1}{2}$ |
| ⑥ $\frac{1}{3}$ | ⑦ $\frac{2}{3}$ | ⑧ $\frac{\sqrt{3}}{2}$ | ⑨ $\sqrt{3}$ | ⑩ $2\sqrt{3}$   |

(〔VI〕の問題は次ページに続く。)

傾き  $-\frac{3}{2}$  の直線  $l$  が  $C$  と第1象限で接するとき、 $l$  の  $y$  切片は  $\square{\text{オ}}$  であり、 $p, q$  を定数として、接点の座標を  $(p, q)$  とおくと、 $p = \square{\text{カ}}$ 、 $q = \square{\text{キ}}$  である。

ただし、 $\square{\text{オ}} \sim \square{\text{キ}}$  については、前ページの①～⑨からそれぞれ1つを選べ。ここで、同じものを何回選んでもよい。

楕円  $C$  が囲む領域で、 $-1 \leq x \leq p$  を満たす部分の面積を  $S$  とおくと、

$$S = 2 \int_{-1}^p \sqrt{\square{\text{ク}} \left( 1 - \frac{x^2}{\square{\text{ケ}}} \right)} dx$$

である。 $x = 2 \sin \theta$  において置換積分を行うと、

$$S = \square{\text{コ}} + \sqrt{\square{\text{サ}}} \pi$$

となる。

次の問題〔Ⅶ〕は、デザイン工学部都市環境デザイン工学科，理工学部機械工学科  
機械工学専修・応用情報工学科のいずれかを志望する受験生のみ解答せよ。

〔Ⅶ〕

$$f(x) = \frac{4x^2 - 1}{x - 1} \quad (x \neq 1)$$

とする。

(1)  $a, b, c$  を定数として、 $f(x) = ax + b + \frac{c}{x-1}$  とおくと、 $a = \boxed{\text{ア}}$ ，  
 $b = \boxed{\text{イ}}$ ， $c = \boxed{\text{ウ}}$  である。

(2)  $f''(x) = \frac{\boxed{\text{エ}}}{(x-1)^{\boxed{\text{オ}}}}$  である。

$f(x)$  は、 $x = \boxed{\text{カ}}$  において極大値  $\boxed{\text{キ}}$  をとり、 $x = \boxed{\text{ク}}$  において極小値  $\boxed{\text{ケ}}$  をとる。

ただし、 $\boxed{\text{カ}} \sim \boxed{\text{ケ}}$  については、以下の①～⑨からそれぞれ1つを選べ。  
ここで、同じものを何回選んでもよい。

- ①  $1 - \frac{\sqrt{3}}{2}$       ②  $1 + \frac{\sqrt{3}}{2}$       ③  $2 - \frac{\sqrt{3}}{2}$       ④  $2 + \frac{\sqrt{3}}{2}$   
⑤  $2 - \sqrt{3}$       ⑥  $2 + \sqrt{3}$       ⑦  $8 - 4\sqrt{3}$       ⑧  $8 + 4\sqrt{3}$   
⑨  $24 - 4\sqrt{3}$       ⑩  $24 + 4\sqrt{3}$

(〔Ⅶ〕の問題は次ページに続く。)

(3) 曲線  $y = f(x)$  と  $x$  軸で囲まれた部分の面積は  $\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}} \log \boxed{\text{シ}}$  である。  
 ただし、対数は自然対数とする。

(4) 無限等比級数  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{f(x)}{(x-1)^{n-1}}$  が収束するのは、 $x = \boxed{\text{ス}}$  であるか、  
 $x < \boxed{\text{セ}}$  または  $x > \boxed{\text{ソ}}$  のときである。このとき、無限等比級数の和は  
 $\frac{\boxed{\text{タ}} x^2 - \boxed{\text{チ}}}{x - \boxed{\text{ツ}}}$  である。

ただし、 $\boxed{\text{ス}} \sim \boxed{\text{ソ}}$  については、以下の ①～⑧ からそれぞれ1つを選べ。  
 ここで、同じものを何回選んでもよい。

- ① 0            ② 1            ③ 2            ④  $\frac{1}{2}$             ⑤  $\frac{1}{4}$   
 ⑥ -1           ⑦ -2           ⑧  $-\frac{1}{2}$            ⑨  $-\frac{1}{4}$

(以上)

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that proper record-keeping is essential for transparency and accountability, particularly in the context of public administration and government operations. This section outlines the various methods and systems used to collect, store, and analyze data, ensuring that information is readily accessible and reliable.

2. The second part of the document focuses on the role of technology in enhancing data management and analysis. It explores how modern software solutions and digital tools can streamline processes, reduce errors, and provide more comprehensive insights into organizational performance. This section also addresses the challenges associated with data security and privacy, highlighting the need for robust protocols and regular updates to protect sensitive information.

3. The third part of the document discusses the importance of training and development for staff involved in data management. It stresses that ongoing education and skill-building are crucial for ensuring that personnel are equipped with the latest techniques and tools necessary for effective data handling. This section provides recommendations for designing training programs that cater to different levels of expertise and organizational needs.

4. The fourth part of the document addresses the issue of data integration and interoperability. It explains how different systems and departments can benefit from sharing data and working together to create a unified view of the organization's operations. This section also discusses the legal and ethical considerations surrounding data sharing and the importance of establishing clear policies and guidelines to govern such practices.

5. The fifth part of the document concludes by summarizing the key findings and recommendations. It reiterates the significance of data-driven decision-making and the need for a holistic approach to data management that encompasses all aspects of the organization's operations. The document ends with a call to action, encouraging stakeholders to take the necessary steps to implement the proposed strategies and ensure the long-term success of their data management initiatives.





1. 凡在本市行政区域内从事经营活动的个体工商户，均应当依法向所在地工商行政管理部门申请注册登记，领取营业执照。

2. 个体工商户应当在营业执照规定的经营范围和经营期限内从事经营活动。

3. 个体工商户应当依法履行纳税义务，遵守有关税收法律法规的规定。

4. 个体工商户应当依法履行用工主体责任，保障劳动者的合法权益。

5. 个体工商户应当依法履行消费者权益保护义务，不得侵害消费者的合法权益。

6. 个体工商户应当依法履行环境保护义务，不得污染环境。

7. 个体工商户应当依法履行安全生产义务，不得发生生产安全事故。

8. 个体工商户应当依法履行消防安全义务，不得发生火灾事故。

9. 个体工商户应当依法履行治安管理义务，不得扰乱社会秩序。

10. 个体工商户应当依法履行其他法律法规规定的义务。

(2) 記入上の注意

マークシートの解答用紙に解答するときには、以下のことに注意してマークしなさい。

- ① HBの黒鉛筆を用いてマークしなさい。万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを用いてマークしてはいけません。
- ② 解答を訂正する場合には、消しゴムできれいに消してから、あらためてマークしなさい。
- ③ マークシートの解答用紙を汚したり折りまげたりしてはいけません。
- ④ 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけません。
- ⑤ アの解答を3にマークするときには、以下のようにマークしなさい。

正しいマークの例

ア	⊖	⊖	⊖	●	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

悪いマークの例

ア	⊖	⊖	⊖	●	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
ア	⊖	⊖	⊖	●	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
ア	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
ア	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖

枠外にはみ出してマークしてはいけません。

枠全体をマークしなさい。

○でかこんでマークしてはいけません。

×を書いてマークしてはいけません。